

# 実験・実習技術研究会 2022 東京工業大学 聴講報告

共通機器部門 情報基盤機器管理班 落 祥弘

## 1. はじめに（目的等）

全国における技術職員の方向性や動向を確認するため、上記 研修に参加して講演会・口頭発表聴講を行う。

## 2. 期間・場所

期間：2022年3月3日(木)～3月4日(金)

場所：オンライン

## 3. 参加者等

オンライン閉会式のアナウンスより、600人弱が参加

## 4. 研修内容

講演会・口頭発表聴講、slackでの直接交流

## 5. まとめと感想

3月3日(木)

東工大における DX 推進 ～ 情報基盤整備と業務形態の断捨離 ～

内容は、組織設立から、個別案件の実際など非常に広い内容が語られていた。DX 推進は各部署で行われているため、技術職員として研究支援を行う上での重要性を再認識した。特に、OFC(オープンファシリティセンター)がTC制度を設立、人材育成、人事評価を含めた運営を組織で行っていることは、非常に参考になった。その他機関の動向についても、見聞を深めたい。

大学間技術系職員交流研修会とのコラボレーション

内容は、20年間の近隣の類似機関との交流研修について、担当者と司会の質疑応答形式になっていた。ワークショップ(専門分科会)などは、近隣にある機関の設備運用、協力体制を構築する上で、非常に参考になった。他大学の動向を把握し、取り入れできる業務を意識したい。

3月4日(金)

口頭発表(1～4部)

各技術分野で聴講を行った。学生実験系では、現状を踏まえた実験指導について、運営面、技術面両方から、教材作成を行った活動が確認できた。研究支援系では、機械・電気電子・情報系を行う案件が多く寄せられており、支援業務で多能工化が推進されていることが伺えた。多様な専門分野の担当者から技術アプローチが発表されており、技術担当として展開を行う上で参考になった。